

## 「感性予測デザインとセンシングが描く未来の空間像」

近年、デバイスと技術が普及しつつあるセンシングに焦点をあてた取組みが数多く行われている。センシングは本小委員会の名称にある感性予測の重要な技術である。連続シンポジウムでもセンシングを取り上げ最先端の技術や応用性について議論を行ってきたが、感性予測・センシングを活かした建築計画・空間デザインの未来象についてはまだ大いに可能性が期待される。また両者の学術的・技術的な発展には多様な発想や未来象が必要である。そこで、本シンポジウムでは、センシング・感性予測の両者に関わる講演を頂き、「感性予測デザインとセンシングが描く未来の空間像」をテーマとする議論を通じて、センシング・感性予測にどんな可能性があり、これらを活かすことで建築計画・空間デザインがどのように変容するのかを提示したい。

特に若い世代に建築計画・空間デザインの未来について考えるきっかけを伝えることを目的としています。多様な分野の計画家・研究者・設計者・デザイナー・技術者・学生他、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

**日時** : 2016年6月30日(木) 14:00 ~ 17:00

**会場** : 建築会館・本会会議室 (東京都港区芝5-26-20, 田町駅・三田駅そば)

## プログラム

総合司会：猪里 孝司 (大成建設)

14:00-14:10 主旨 猪里 孝司 (大成建設)

14:10-14:35 発表1 貞清 一浩 (清水建設)  
「視覚障害者向け音声ナビゲーションシステムの開発」

14:35-15:00 発表2 岡島 義 (早稲田大学)  
「寝起きしやすい空間 -臨床心理士の視点から-」

15:00-15:05 休憩

15:05-15:30 発表3 多田 昌弘 (近畿大学)  
「日常生活行動の計測と見える化による運動習慣獲得のための動機付け手法」

15:30-15:55 発表4 山田 悟史 (早稲田大学)  
「『人は偶然見かけた傷病者を救護するか』をふまえた救急医療環境の計画手法」

15:55-16:05 休憩

16:05-16:55 ディスカッション

16:55-17:00 まとめ 宗本 晋作 (立命館大学)

定員 : 40名 (申込み先着順)

参加費 : 会員2,000円, 会員外2,500円, 学生1,500円  
[資料代含む / 当日会場払い]

\*会員番号の記載がない場合は、会員外として扱わせていただきます。ご了承ください。  
\*定員に達した場合にお断りの方のみにご連絡します。

申込締切 : 2016年6月20日(月)

申し込み問合せ : E-mailで「催し物名称、上記参加費種別および(本会会員の場合)会員番号、氏名、勤務先、電話番号、E-mailアドレス」を明記のうえ、以下のメール先にお申し込みください。

日本建築学会事務局研究事業グループ 伏見 fushimi@aij.or.jp

主催 : 日本建築学会 情報システム技術委員会  
感性予測デザイン研究小委員会

